

新日本保険新聞

北海道代協・函館支部が創立70周年



参加者による集合写真

記念式典など盛大に開催

一般社団法人北海道損害保険代理業協会・函館支部(田代誠治郎支部長)は9月15日、函館市の函館湯の川花びしホテルで創立70周年の記念講演、記念式典、祝賀会を開催。式典には91名が参加した。午後2時からの記念講演では、(株)フレイソマー

功労者表彰では、同支部70年の歴史の礎を築いてきた歴代支部長を中心に7名に感謝の気持ちを込めて記念品を贈呈。功労者を代表して、MS保険サーブیس北海道(株)・高梨重勝最高顧問が謝辞を述べ、記念式典を終えた。午後6時から祝賀会が開かれ、衆議院・前田一男議員、日本代協・山口史朗副会長が来賓挨拶。損保協会北海道支部函館地区連絡会・岩瀬力代表理事が乾杯の挨拶を行った。支部会員や保険会社など参加のもと、70周年を盛大に祝った。

「今いる人材が最高の成果を生み出す」「仕組みの作り方」をテーマに講演。午後4時半からの記念式典では、一般社団法人日本損害保険代理業協会(以下、

昭和22年9月10日に「函館代理店会」を改組し「函館損害保険代理業協会」を設立したが、現在の函館支部の源流であります。

た、人口減少や高齢化問題は特に函館のような地方都市において、より顕著に現れてきております。しかしながら、このような環境変化を逆にチャンスに変えることができるのが我々代協会員だと確信しております。

このような長い損害保険の歴史の中でも、我々が一度も経験したことのないような大きな環境変化が現在起こりつつあります。昨年の保険業法改正はもちろん、AIやIoTなどの技術革新は工業のみならず保険分野にも大きな変革をもたらすことが予想されます。ま

は今後とも会員の皆様の資質向上・社会貢献活動・代理店経営サポート事業等の施策を推進し、会員の皆様はもとより、業界全体が発展していくよう励んでまいります。

▽田代誠治郎支部長挨拶(抜粋)